

AUGUST EXPLORER



自航式多目的船

自航式多目的船

AUGUST EXPLORER

AUGUST EXPLORERは、排他的経済水域（EEZ※1）での運行を目的に、最新の定点保持機能（DPS※2）を搭載した自航式多目的船です。

本船は、3ヶ月程度の外洋作業に対応可能な航海能力と、広いデッキスペースや定員50人を超える居住区、海水淡水化装置等により、建設作業のみならず調査業務等、様々な作業に従事することが可能です。

※1)EEZ: Exclusive Economic Zone

※2)DPS: Dynamic Positioning System

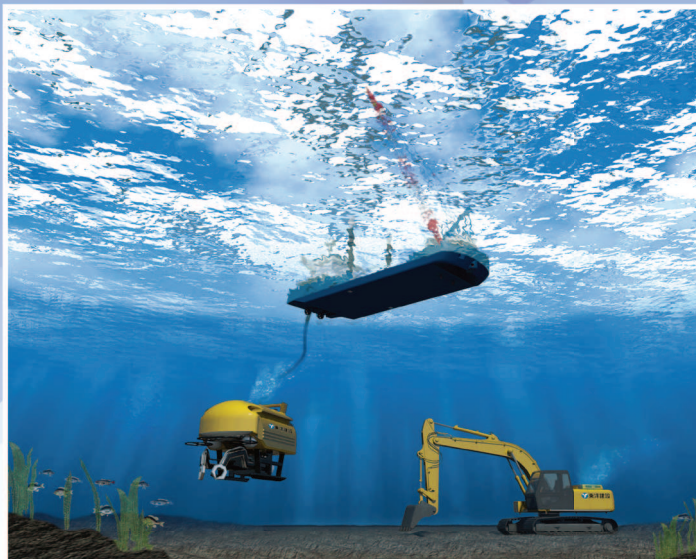


AUGUST EXPLORERの特徴

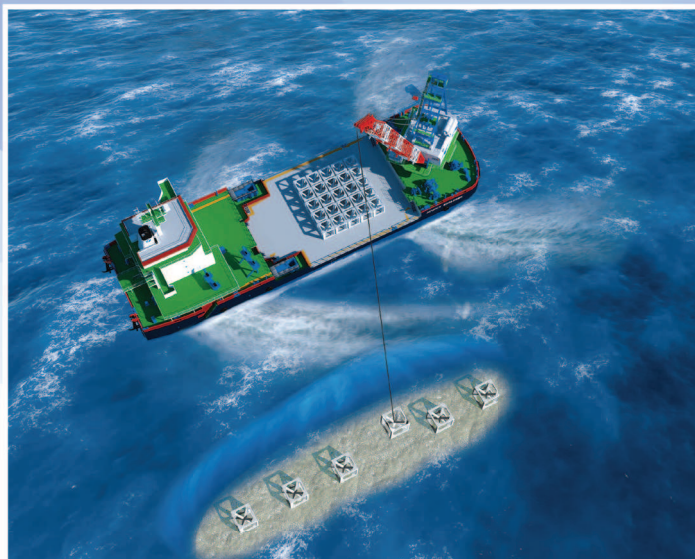
- 航行区域を「近海」とした、自航式の500t吊起重機船です。
- 最新鋭の全旋回スラスター4基、補助スラスターを1基装備し、強風時や潮流域で定点保持ができます。
- 居住区は52名の収容が可能であり、調査・探査業務やサプライポートとしても有効です。
- デッキスペース（925m²）は、魚礁やブロックなどの建設資材搭載の他、ROV（遠隔操作無人探査機）や調査用無人ヘリ、研究ブース（コンテナ）の搭載も想定しています。
- 船首側全旋回スラスターは昇降式であり、喫水も2.76mまで調整できることから、海洋域だけでなく比較的浅い沿海／平水域での作業も可能です。なお、スパッドは着脱式です。
- 海水淡水化装置は、2千人分/日の飲料水を賄うことが可能です。
- 1000kℓ燃料タンクを装備しているので、非常時には燃料補給母船として使えます。



洋上風力発電施設設置補助

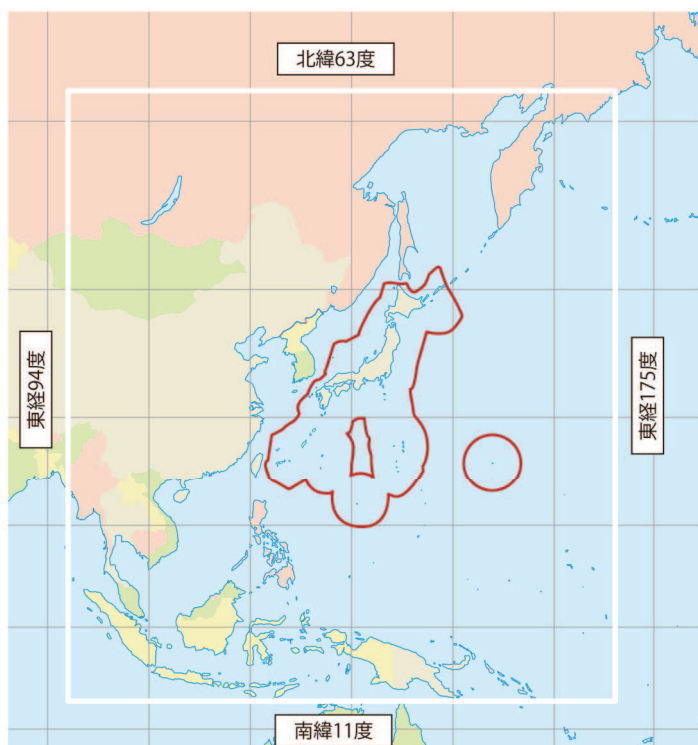


海洋調査・探査業務



深海域での魚礁設置(定点保持)

航行区域



近海(東経94度、南緯11度、東経175度、北緯63度の線により囲まれた水域)

※赤線は、日本のEEZ

主要諸元

船体寸法	全長:89.9m 幅:27m 深さ:5m
最大吊能力	500t(最大ジブ長:57.4m)
最大積載荷重	3,500t(常用時 2,800t)
最大搭載人員	52名(船員14名含む)
喫水	軽荷喫水2.76m、満載喫水3.95m
総トン数	4,831トン
航海速力	10ノット
DPS	潮流2ノット+風速15m(全方向に対応)
推進装置	全旋回式 1,471kW×2基 (360°回転・2,000PS×2基)
バウスラスター	昇降式全旋回式 590kW×2基 (360°回転・800PS×2基)
補助スラスター	トンネル式 330kW×1基
航行区域	近海区域(非国際)
船級	NK2014版
燃料タンク容量	1,000kℓ
海水淡水化装置	飲料水製造能力4m³/日、 清水製造能力16m³/日

用途

近海／沿海／平水域における海上作業全般

対応可能業務の例

- 定点保持を必要とする作業
魚礁・海洋再生エネルギー発電施設等の設置
- 海洋調査・探査業務
研究者の乗船が可能(定員 船員14名、その他38名)
925m²のデッキスペースに調査機器等を搭載可能
- 浚渫作業(砕岩・硬岩仕様含む)
13m³×34t普通バケット、10.5m³×36tテトラバケット
5.0m³×50t硬土盤バケット、40t砕岩棒

- 杭打作業(フライングハンマー使用)
- 海底ケーブル敷設作業
- 洋上風力発電施設設置の補助作業
資機材運搬、受け渡し他
- その他
災害支援活動等